
日本歴史時代作家協会 理事会 議事録

日時

令和7年3月24日（月）18:00～20:20

場所

ふれあい貸会議室（飯田橋）

出席者

（代表代行・理事）

三田誠広（代表代行）、伊多波碧、加藤淳、橘かがり、久宗圭一、森川雅美、森田健司、理流 計8名

（監査役） 柏原弘幸

（欠席者）

雨宮由希夫、飯島一次、菊池仁、藤原緋沙子 計4名

（その他出席者）

永田勝久

配布資料

議案書、電子書籍「歴史行路文庫」リエンジニアリング計画案、平野周氏への回答書ドラフト、文学フリマ東京40企画書、会員向けアンケート案、サイトリニューアル企画書、メールマガジン発行企画書、電子書籍「歴史行路文庫」実績推移（2024年度）

1. 開会

三田誠広代表代行的出席のもと、理事の過半数が出席したため、本理事会は成立。久宗理事を議長、理流が書記を務める。

2. 審議事項

2-1. 電子書籍対策委員会タスクフォース答申書の審議（継続）

- ビジネスモデルおよび運営システムの見直し案について報告。
- 出版可能な作品：三田氏の作品、瀬川貴一郎氏「のらくら同心」シリーズ1冊、他に了解が得られれば4冊分のデータ（InDesign2冊、Word2冊）あり。
- 加藤事務局長より、「Wordで制作できるなら、出版点数を増やせるはず。あと1年様子を見るべきでは」との意見。
- 平野周氏のビジネスモデル提案については、電子書籍立て直しが急務であるため、加藤事務局長名義で見送りのメールを送ることを決定。

2-2. 文学フリマ東京 40 の運営体制案

- 理流理事が企画書に基づき説明。以下の通り。

制作物：名刺、入会パンフレット（かわら版形式）、PR用ペーパーバック（西山ガラシャ著『公方様のお通り抜け』）

配布物：名刺、パンフレット、会報、菅田龍一追悼特集かわら版

展示販売物：協会賞受賞作品のサイン本、『新版・小説を書きたい人の本』、ペーパーバック書籍

販促物：陳列ビラ数枚、ミニイーゼル数個

スタッフ：理流、橘、森田（来場予定者：加藤）

経費：現時点では予算化されていないため、発生時には理事会に報告

企画書に沿って準備を進めることを了承。

2-3. 会員向けアンケートの実施

- 今後のサービス拡充に向けて実施予定
- Google フォームを使用し、メールで案内。回答しやすく、集計も効率化。
- 電子書籍関連の設問を追加。
- Google フォーム作成は理流、確認は久宗・加藤両氏。

2-4. 歴史行路サイトの閉鎖と協会サイトのリニューアル

- 歴史行路サイトを閉鎖し、コンテンツの一部を協会公式サイトに移管。

- 会員向けエッセー「作家への道」などを連載し、電子書籍化・文学フリマ販売を検討。
- 三田代表代行によるコンテンツ提供（週1回の古代史・女帝論）予定。
- ホームページ更新・SNS運営が可能な会員を地方在住者も含めて募集。
- メールマガジンによる誘導導線の整備。
- リニューアル作業は内製。
- ドメインはさくらインターネットへの移管を検討（費用：約3,000円）。

2-5. メールマガジンの発行

- 理流より企画趣旨、森川理事より補足説明。
- 会報年2回では活動が伝わりづらいため、月1回のメールマガジン発行を決定。
- 内容：理事会報告、活動予定、今月の著書紹介、会員のPR記事など。
- テキストベースのフォーマットを作成し、定型で記事を流し込む形とする。

3. 報告事項

- **合評会（3/29開催）**：6名13作が提出。PDF形式で印刷可能。
- **電子書籍の実績報告**：売上が最高時の1/10以下に減少。対応はリエンジニアリング計画に基づく。
- **シェア型書店「ほんまる」**：3/7より菅田龍一追悼企画を実施。
 - 印刷費：19,777円（かわら版710部、出版リスト510部）
 - 発送費：7,644円（封筒、クリアファイル、郵便代）
- **会報（第10号）**：発行日3/31、4月上旬納品予定。部数400部（文学フリマ用100部含む）、納品後に封入作業。調整さんで日程調整予定。
- **法人化の進捗ほか**：総会は6月上旬開催予定（Zoom形式）、次回理事会で決定。

4. その他

- GW に歴史散策企画を検討中（候補地：横浜、深川、浅草など）。
 - 可能であれば、歴史資料館・自治体と連携し、学芸員の解説を収録・YouTube 配信などを検討。

以上